

平成24年12月市議会定例会より 工藤市長の一般行政報告

11月30日から11日間の会期で開催された市議会定例会では、工藤市長の「一般行政報告」のほか12月補正予算の審議などが行われました。

※一般行政報告は、全文を一部要約して掲載しています。

市民交流団『市民の翼』の石垣市訪問

このたび、達副市長を団長とする市民交流団『市民の翼』一行が、沖縄県・石垣市との友好都市締結25周年を記念して、同市を訪問してきました。

これまで石垣市と交流を重ねてきた関係団体、また一般公募による市民の皆さんと総勢



市民パレードで南極おどりを披露する市民交流団



友好都市締結25周年を記念した鐘打式

これまで一緒に交流を続けてきた石垣の皆さんに、もう一度この稚内を再認識してもらおう絶好の機会だと捉え、映画館の

石垣市とは、これまでも「世界平和の鐘」をはじめ、文化やスポーツ、物産、青少年の交流や、職員の相互派遣など、様々な分野で交流を深めてきました。明年2月には、石垣市の訪問団が本市を訪れる予定です。市民ぐるみで歓迎し、今後両市の発展に繋げられる交流を続けていきます。

ない石垣に映画鑑賞の機会を提供するためです。

上映会は、早速12月5日に開催されるので、多くの皆さんに鑑賞して

進めていただいています。準備

滞る2日目の市民パレード

では、交流団全員で「南極おどりを披露しました。曲の合間

には映画『北のカナリアたち』や本市のPRを行い、沿道の石

垣市民の方々から心温まる声援や拍手をいただきました。

また、新栄公園に設置された「世界平和の鐘」の記念鐘打式

が行われ、本市と石垣市の皆さんとで、改めて平和への祈りを

込めて鐘打を行いました。

石垣市とは、これまでも「世界平和の鐘」をはじめ、文化や

スポーツ、物産、青少年の交流や、職員の相互派遣など、様々

な分野で交流を深めてきました。明年2月には、石垣市の訪

問団が本市を訪れる予定です。市民ぐるみで歓迎し、今後両

市の発展に繋げられる交流を



平成24年稚内・コルサコフ定期航路の運 航実績

本年度の稚内・コルサコフ航路は、6月5日から9月28日の期間、28往復、56便が運航され、本年の運航を全て終了しました。

旅客輸送実績は総数4,219人で、内訳としては、日本人が昨年とほぼ同数の1,473人でしたが、ロシア人が2,636人と、震災前とほぼ同程度に回復しています。その結果、震災前の一昨年と比較しても、全体で316人増加しました。

特に、「二便あたりの平均旅客数」は75.3人と、現在より便数・旅客数ともに多かった時期を含めても、過去最高となりました。こうした実績は、これまでの集客努力の、一定の成果の

表れと捉えています。

一方、貨物については、約980トン、前年比83.7%の実績にとどまりました。期待しているサハリンプロジェクトに、まだ動きが見えていないこともあり、かつてほど物は動いてはいませんが、本年は新しい取り組みとして、生鮮食料品の輸出が試行されました。

本航路は「決まった日に必ず運航され、輸送時間が短い」という強みを持ちながら、その強みを生かせる生鮮品の輸送については、これまで通関手続きのための保管用冷蔵設備がないことが障害となり実現できませんでした。本年はその目処が立ったことから、果物と刺身の冷凍魚の輸出が試験的

にはあります。行われたものです。

稚内・コルサコフ間のフェリーは、先ほども申し上げまし



今年最初の定期便を利用したサハリンからの利用客

たとおり、定時性、迅速性などの長所があります。

貨物についても、大型建設機械や資材だけではなく、北海道の強みを生かした食料品の輸出も、この航路を利用して、その量を拡大していくことが期待されます。

そうしたことから、北海道にもこの航路の利用促進に取り組んでいただいているところであり、今後も本市が持つ「地の利」をアピールしながら、この航路の安定性が確保できるような支援に努めていきます。

高齢者の集いの場 「カフェ天北」

去る11月2日、沼川みのり公園総合管理棟を会場に、高齢者の集いの場「カフェ天北」を、地域の皆さんとの協働事業として初めて開催しました。

高齢者の皆さんに気軽に集まっていたいただき、交流を通して楽しみや生きがいを感じてもらおうとともに、介護予防を目的として開催し、本市介護保険事業計画に位置付けた「高齢者が集える場所づくり」のモデル事業として開催しました。

「カフェ天北」の参加者は34人、サポート役として地域から